

## 第2回 学校関係者評価委員会報告

令和6年12月11日

中種子中学校

1 日時 令和6年12月11日(水) 10:30~11:30

2 場所 校長室, 校内授業・施設参観

### 3 出席者

(1) 本校職員 2名

校長, 教頭

(2) 学校関係者評価委員 5名

冷水 精子 (前中種子町教育委員)

日高 義人 (野間校区長)

青谷 有美代 (種子島中央高等学校長)

田川 博和 (増田小学校長)

木下 三基男 (本校PTA会長)

### 4 協議事項

(1) 校長挨拶

(2) 授業参観

(2) 各領域説明, その他

ア 学力向上について

イ 生活指導について

ウ 健康・体力・安全について

エ 服務規律の厳正確保について

### 5 学校関係者評価委員からの意見等

(1) 人権同和教育の研究公開資料より

「部落」と「集落」の違いについて説明が必要では。

(2) NIEの取組は?新聞を読む習慣がなくなっている。

➡ タブレットで新聞朝読書の日を設定している。

(3) 端末利用で, 多角的にみる力が弱くなっている。端末操作は思考には関係ないところがある。

タブレットは便利だけど, 流されてはいけない。書くことの大切さ。

➡ 一概には言えないが, 先生方にも意識して活用してもらおう。デジタルとアナログのいいとこどりをしている。

(4) メディアルールや家庭学習の習慣は, 小学校から家庭への啓発も含めて大事なことである。

(5) 頭髪に関する校則は素晴らしい取り組みだと思います。「服装・頭髪の乱れは心の乱れ」

(6) 夕方の活動は, 19:00位までにした方がよい。生活習慣, 学習時間, 睡眠時間が足りなくなる。

(7) コツコツ勉強をする生徒とそうでない生徒で, 高校卒業後の全国レベルの戦いでは通用しない。

他と自分を比較するのではなく, 根拠のない自信がある。

小中高連携の必要性を感じる。